

# 令和5年度 第1回地域包括支援センター運営協議会 会議要旨

開催日時：令和5年8月18日(金)13:30～14:40

開催場所：多治見市役所駅北庁舎4階大会議室

出席委員：山田隆司委員、後藤達彦委員、井澤賢禄委員、加藤元子委員、山田佐夜子委員、和田幸恵委員、加藤英治委員、長江一鶴代委員、櫻井きよみ委員

欠席委員：野々垣 直美委員

事務局：加藤福祉部長、前田高齢福祉課長、大中博、内山祐介、前原友美、包括支援センター(高木浩二、国立美保、春田正孝、関谷早苗、水野千鶴子、棚瀬民依)

資料：【資料1-1】R4事業報告、【資料1-2】困難事例、【資料1-2】包括事業報告  
【資料1-3】R4年度収支決算、【資料2】包括評価表

－会議要旨－

## 1. 部長挨拶

地域包括支援センターは地域包括システムの中核機関として、地域住民の健康、福祉について包括に支援いただいている。近年の高齢者支援のニーズは複雑化、多様化しておりその役割はより重要になっている。このような状況下、昨年度は困難事例担当として1名配置し、体制を強化している。昨年度の活動状況について委員の皆さまに評価いただき、今後のより良い活動に繋げていきたい。

## 2. 事務局紹介

## 3. 議事

### (1) 令和4年度事業報告及び収支決算報告

<事務局> 資料1-1～3に沿って説明

<会長> 事務局の説明について、ご質問やご意見はありますか。

<委員> 高齢者虐待の相談件数についてかなり差がある。これは地域性があるのか。

<包括> 虐待については継続支援することが多く、延数で集計する為差が生じやすい。特に地域による差はないと考える。

<委員> ケアマネの相談件数についても差があるが、いかがか。

<包括> 包括によっては、相談内容により介護保険や保健医療に計上している。また、日頃ケアマネへの声掛けを積極的にし、相談しやすい環境づくりを心掛けている包括は相談件数も多い。

<委員> 収支決算を見ると精華包括はマイナス収支であるが何か理由があるのか。

<包括> 昨年は特段の理由はない。ケアプランはできる限り包括で担当し収入増を心掛けているが、相談業務なども多いため事業所へ再委託もしている。

<委員> 相談事業では、軽微な相談から困難事例まで件数だけでは計れない部分がある。今の4～6人体制でオーバーフローはしていないのか。ケースによって対応の仕方を考える必要があるのではないか。

<包括> 大きく分けると、相談業務とケアプラン業務とあるが、ケアプランを再委託できる事業所が減ってきており、包括の負担は大きい現状がある。

<委員> では、自分たちはどうしていきたいのかを考えながら来年やその先のことを見据えていく必要がある。ケアマネの相談を受けつつ、ケアマネ自身で解決できる様にしていかなければならない。収支決算について、昨年度トータルとしての赤字であるが累積すれば大きな額となる。どのように対応していくのか。

<包 括> 単年度の収支決算額はここ数年で徐々にマイナス額は少なくなっている。社会福祉協議会においては、支出を抑えながら補助金や加算事業で収入を得る等の経営努力によって改善してきている。また、法人内でカバーしている部分もあり今後返していかなければならない。他の法人も同様だと思う。

<会 長> それでは4年度事業報告及び収支決算について承認したいと思います。

## (2) 令和4年度地域包括支援センター評価について

<事務局> 資料2に沿って説明

<会 長> 以上の説明について、ご質問、ご意見はありますか。

<委 員> 資料から皆さんが一生懸命やってみえることが分かる。この中で地域づくりへの期待や体制づくりについて市からの要望があるが、各施設が少ない人数でやってみえて、地域づくりまでやっていけるのか。また、市からの評価を受けてどのような感想をお持ちか。もっと行政でやることもあるのではないかという面もあるかもしれないが、いかがか。

<包 括> 評価は市の視点で見ていただいております。押さえていて欲しい部分については評価がしてもらえた。予算に上げていなかった新企画事業について、1年目は加算無しで実施したが実績を見て次年度予算化してもらったり、今回のヒアリングでも頑張っている点を評価し、もう少し頑張れる点についても正直に意見交換ができた。また、事務的な面で簡略化のアドバイスや客観的な評価などを受け自分たちの気づきがあった。

<会 長> 自己評価において課題とされたことについて、解決できることを期待します。それでは、全体を通して何かご意見はありますか。

<委 員> 北栄包括の相談対応の中で、相談者への連絡や記録の遅延が課題、改善点としてあがっているが、他の業務が多過ぎるのか。業務の対応の仕方や改善策についてあるのか。

<包 括> 相談数が増えていることに合わせて、緊急対応が必要なケースがある。対応に追われて記録が後回しになることもあるが、速やかに記録するよう徹底したい。

<委 員> 包括の業務は多種多様であり、皆さん頑張って頂いていると思う。各包括で課題が挙げられているが、包括で解決できる事は取組み、全市的に考えなければいけない事は行政と一緒に考えていく必要がある。

<会 長> その他ご意見はありませんか。ご意見ありませんので、以上をもって第1回の会議は終了します。